



# き かた よい聞き方を み 身につけよう

5・6  
年生

かんが き あた う だ  
考えながら聞くことで、新しいアイデアを生み出すことができます。



## かんが き 考えながら聞こう

**話す人が気持ちよく話せるようにしましょう。**

はな ひと き も はな  
\*話す人の方を向き、うなずきながら聞く。

**話の内容を分類しながら聞く。**

はなし ないよう ぶんるい き  
\*賛成と反対、事実と意見を区別しながら聞く。

**メモを取りながら**

い と  
\*意図をふまえて、キーワードをメモする。



## き まとめながら聞こう

**わかりにくいとき、くわしく知りたいとき**

かんが こんきょ おし  
\*「～と考えた根拠を教えてください。」

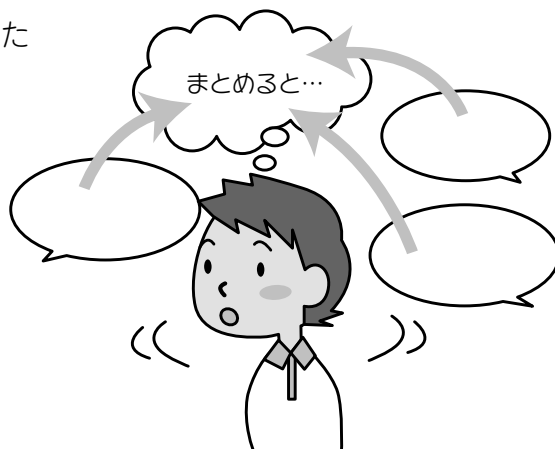
すこ せつめい  
\*「～をもう少しわかりやすく説明してください。」

りゆう かんが  
\*「～という理由のほかにも、～考えた理由はありますか。」

**話し合いの結果をまとめて、  
せいり  
整理するとき**

はなし  
\*「これまでの話は、  
～とまとめてよいですか。」

はなし  
\*「これまでの話は、～と～～  
わ  
のように分けてよいですか。」





# はな かた よい話し方を み 身につけよう

5・6  
年生

すじみち とお はなし わ あ  
筋道の通った話をする、と、分かり合うことができます。

- ❖ もくてき い と おう 目的や意図に応じて、じじつ い けん 事実と意見の、ちが つた 違いが伝わるように話します。
- ❖ あいて そんちよう 相手を尊重した態度で話したり、たいど はな はな あ 話し合ったりします。

## い けん 意見

じぶん かんが 自分の考えや立場を、たちば い はっきり言うことが、たいせつ 大切です。

- \* 「～にはさんせい賛成ですが、～の部分にははんたい反対です。」
- \* 「別の視点から考えると、～ということが言えます。」



## せつ めい 説明

せつめい 説明することからの関係、かんけい あき を明らかにして説明しよう。

- \* 「以前の～とかんれん関連づけて考えると」
- つか たとえを使ったり、れい にていることを例にあげたりすると、わ 分かりやすくなります。
- \* 「たとえば～」
- \* 「～を例に説明すると、」
- \* 「まるで～のように」
- \* 「ちょうど～と同じように」

## ろんり てき し こう 論理的思考

ちゅうしん 中心をはっきりさせて筋道の通った話をするために、すじみち とお はなし 話し方の型を身につけましょう。

- \* 「つまり」「このように」
- \* 「～さんのかんが考えをまとめていうと」
- \* 「～をひろ広げて考えてみると」
- \* 「もし、～だとしたら、～だと思います。」
- \* 「～をあ当てはめてみると」
- \* 「～のじょうけん条件をそろえないと、たんじゆん くら単純には比べられません。」

